

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立 常磐中学校

校長 米川 崇

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点から意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
- ② 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させて改善に努めることで、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- ③ 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともに作る学校」の推進を図ります。
- ④ 教育を取り巻く社会情勢は、大きく変化しています。新たな教育課題について、学校外からの視点も参考にし、課題解決に向けて取り組みます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

<1年生>

・農園活動

学校にある吉田山の畑を活用した農園活動を毎年実施しています。今年度はサツマイモを植え、学年全体で収穫を行いました。苗を植え、除草、収穫など、家庭生活では農作業をあまり体験していない生徒達には、貴重な経験となっています。



・福祉体験

クラスでは高齢者福祉や障がい者福祉について学習しました。また、福祉についての理解を深めるために、四日市市社会福祉協議会の協力を得て、視覚障がいを持つ方に来ていただき、ご自分の経験をお話いただきました。



さらに、SS ピンポンを障がいのある方とともに体験し、交流しました。これにより、障がいを持っている方が自己実現を図って充実した生活を送っていることや、福祉の重要性を知ることができました。

・ザ・プロフェッショナル（職業講話）

毎年、PTA は講師の選定・依頼・受付接待などを行っています。保護者のネットワークを通じて、地域で活躍する調理、教育、芸能、体育スポーツ、農林水産など多彩な分野の講師を選び、生徒たちに話をしてもらっています。

生徒たちは目を輝かせて話を聞いていました。



<2 年生>

・職場体験学習

四日市市内の事業所やお店で職場体験学習を実施しました。事業所の選定にあたって、本校のコミュニティ委員の方々から意見をいただき、生徒の希望を取り入れた様々な業種の事業所で活動することができました。活動中は、名札を着用し、常磐中学生としての自覚を持たせることができました。特に、地域の事業所からは職場体験学習の生徒たちに多大なる協力をいただきました。各事業所に対するアンケートでは、おおむね熱心に生徒が活動していたという回答が多く、学校では学べないことを学ぶ機会となりました。



<3 年生>

・マナー講座

面接試験に向けて、講師を招いて面接の所作やマナーの重要性、今後の社会人として役立つマナーについて講義を受けました。相手に良い印象を与えるのは最初の 1 秒で決まるといった内容も含め、丁寧にマナーについて教えていただきました。



<学校全体>

・吉田山環境整備作業

PTA を中心に、年間 2 回の土曜活動を実施しました。当日は、職員が事前に草刈りを行い、生徒がその草を袋詰めし、グラウンド周辺の草抜きを行いました。また、保護者の皆様には、校舎周辺や通学路の草抜きをしていただきました。



- ・ボランティア活動（避難所設営訓練、竹馬整備、凧づくり、常磐まつり）

常磐地区防災協議会や常磐地区社会福祉協議会のボランティアに、多くの生徒が参加しました。地域の方や来賓、地元議員の方から感謝やお褒めの言葉をいただき、参加した生徒も達成感や充実感が持てる取り組みとなりました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

令和2年度からコミュニティスクール（運営協議会）が発足し、地域の方と生徒との繋がりが深まる取り組みが計画されました。委員の方々の働きかけにより、多くの生徒が避難所設営訓練や常磐まつりボランティアなどの地域行事に参加しています。また、中学生が参加することで、参加者の意識が良い意味で変わるというお言葉もいただきました。

運営協議会の設置により、地域の方々に本校の教育活動や生徒の様子を知っていただき、様々な意見や支援を受けています。私たちも多様な視点から学校を見直し、地域の方々の願いや期待を知ることができました。全国学力・学習状況調査の生活面の質問紙では、地域や社会をより良くしたいと答えた生徒が約86%おり、県や全国の平均を大きく上回っています。

学校内では、美術部や音楽部が地域行事への参加を呼びかけ、生徒への意識付けを行っています。参加することで自己有用感を得て、前向きに参加する生徒が増えました。また、ボランティア参加で多くのお褒めの言葉をいただき、生徒の自己肯定感の向上にもつながっています。運営協議会の開催は、生徒の活動時間に行うようにしています。

3 今後に向けて

- ・ボランティアへの参加がまだ少ないことです。今年度は3年生を中心に多くの生徒が参加しましたが、1、2年生の参加は他の活動があるため少ないです。今後は、参加しやすい日程調整や、ボランティアに参加したいと思う生徒を増やす工夫をします。

- ・職員にコミュニティスクール（運営協議会）の意義が浸透していないことです。この4年間で業務改善の意識があり、休日に地域行事に参加する職員が少ない現状です。各取り組みに担当職員を参画させ、多くの職員が地域行事を知り、活動の意義を再確認することで、生徒の参加も増えると考えています。

- ・学校公開日に参観する保護者や地域の方々が限られていることです。今後は、事前の案内配布に加え、ホームページで昨年の取り組みの様子を伝えるなど、参観しやすい方法を模索します。

別紙B

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立常磐学校

委員長 市川 ゆかり

校長 米川 崇

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会	学校公開日・授業参観等
6		吉田山環境整備作業 職場体験学習
7		
8		
9	第2回運営協議会	学校公開日・授業参観等 吉田山環境整備作業
10		体育祭 常磐地区避難所設営訓練
11	第3回運営委員会	学校公開日・授業参観等 文化祭 ときわ祭り 竹馬づくりボランティア
12		職業ガイダンス・キャリア教育(1年) 凧づくり・凧あげボランティア
1		冬休み子ども塾
2	第4回運営委員会	学校公開日・授業参観等
3		

※随時 常磐地区社会福祉協議会イベント等にボランティア協力